

科目名	Japanese Language and Japanese Society A (Japanese L&S A/日本語・日本社会A)		
担当者	小森 由里 (Komori, Yuri)		
開講学期	春学期	単位数	1 単位

授業の目標

履修のための日本語レベルは問わない。日本の社会的・歴史的背景や事例を日本語の言葉や表現とともに学び、日本語および日本社会への理解を深めることを目的とする。

授業の内容

日本語の語彙や表記、慣用表現などについて、その背景にある社会的・歴史的なことから触れながら学んでいく。授業は英語と簡単な日本語で行われる。講義も行うが、学生同士のディスカッションや調査なども行うため、積極的な参加が望まれる。

授業計画

1. ガイダンス
2. 日本人の名前の変遷
3. 地域方言①
4. 地域方言②
5. 社会方言①
6. 社会方言②
7. ボディランゲージ
8. 振り返り・発表
9. 日本語の表記体系
10. 書道
11. 着物
12. 日本の教育
13. 振り返り
14. 発表

トピックとスケジュールは変更する可能性がある。

成績評価方法・基準

クラスへの参加度30%,課題・宿題40%,
プレゼンテーション・レポート 30%

テキスト

プリント教材。

参考文献

指定しない。

準備学習・その他(HPなど)

必要な準備学習については、毎回の授業で指示する。

科目名	Japanese Language and Japanese Society B (Japanese L&S B/日本語・日本社会B)		
担当者	小森 由里 (Komori, Yuri)		
開講学期	秋学期	単位数	1 単位

授業の目標

履修のための日本語レベルは問わない。日本の社会的・歴史的背景や事例を日本語の言葉や表現とともに学び、日本語および日本社会への理解を深めることを目的とする。

授業の内容

日本語の語彙や表記、慣用表現などについて、その背景にある社会的・歴史的なことから触れながら学んでいく。授業は英語と簡単な日本語で行われる。講義も行うが、学生同士のディスカッションや調査なども行うため、積極的な参加が望まれる。

授業計画

1. ガイダンス・日本の祝祭日
2. 役割語
3. 人称詞
4. 家族と家族間呼称
5. 敬語
6. 色のイメージ
7. 振り返り・発表
8. 短歌・俳句
9. 食生活
10. 日本の宗教
11. 日本人の国民性
12. 現代日本の社会問題
13. 振り返り
14. 発表

トピックとスケジュールは変更する可能性がある。

成績評価方法・基準

クラスへの参加度30%、課題・宿題40%、
プレゼンテーション・レポート30%

テキスト

プリント教材。

参考文献

指定しない。

準備学習・その他(HPなど)

必要な準備学習については、毎回の授業で指示する。